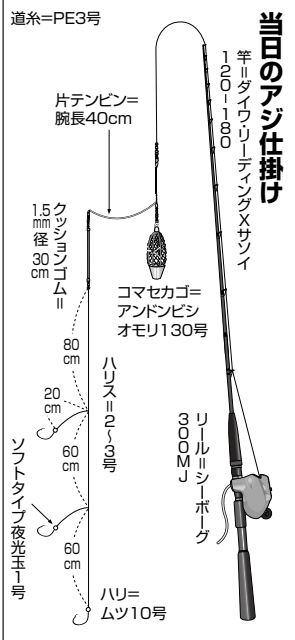


★釣魚でしるへるおいらの料理30選レシピ集『大好評発売中!!』



•Tackle Guide
アジの仕掛けはハリスが2号と3号、ハリは2本と3本がある。ハリ2号の3本ハリ仕掛けが食いもよく効率がいいが、潮が速くトラブルの発生率が高いときは2本ハリがおすすすめ。大型のアジやサバなどが多いポイントではハリス3号のほうが糸ヨレしづらいので状況に合わせて仕掛けを選ぶといい。

当日のアジ仕掛け
竿はシーホークのシーホーク3000MJ、リールはシーホークの3000MJ、フロントタイプ夜光玉一号、ハリはムツ10号、コマセカゴはアンドンピンオモリ130号、片テンピンは腕長40cm、クッションゴム、ハリスは2号、ハリは2本と3本がある。

「たすくに釣りますから」とときわやかに返してくれた。だが、この逃げたアジが「上」に人間がいるから気をつけろ」と告げ回ったかのように、その後はピタリとアタリがなくなってしまう。船長もあちらこちらとアジを求めて移動してくれるのだが、一向に好転せず時間が過ぎていく。

後半戦は絶好調
すると、18〜25センチのアジがポツリポツリながら顔を出す。左トモ側に行ってみると女性アングラーのローズ・レイさんのタルの中には3尾のアジとサバが1尾泳いでいたので「上手ですね」と声をかけると、「全部仲乗りさんが釣ってくれたの。まだ釣り方がよく分からないわ」とのこと。それでは、と彼女のタックルを借りてレクチャー。

も今日の本命はアジだ。私もこれまで何度もこのエリアで釣りをしたことがあるが、これほど苦労した経験はあまりなく、船長も困り顔。午前船の釣り時間は4時間ほどで、すでに2時間半が経過し再取材を覚悟したが、あれほど速かった潮の流れが緩み始めた。



▲大津沖の中アジは脂乗り乗りで食味も満点
▼30センチ級の良型も交じる

手軽で確実に釣果が見込めるターゲットといえば東京湾のアジが筆頭だろう。東京湾のアジ乗合は周年出船するが、この時期は脂が乗って食味も増すため梅雨時にもってこいの釣り物だ。そこで、5月下旬に三浦半

島京急大津港・まるまつ丸に釣友の河野さんと足を運んだ。**釣り場が港近で楽らく**
まるまつ丸のアジ・サバ乗合は土日祝日の午前船のみとなっており、午後は仕立船を受け付けている。

ビギナーも外国人も大歓迎！ 万全サポートの半日アジ乗合

●三浦半島京急大津港発↓大津沖 本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki



週末のレジャーにイチ推し！
「英語なら対応で」

「大きなのが釣れたぞおー」と左ミヨシで歓声が上がる。アジがタモの中でピチピチと

「これで家族全員お腹一杯アジフライが食べられますよ」と笑顔で釣り続けている。

「竿先がフツと戻ったら着底です。リールのクラッチを戻して2〜3度底ダチを取ったら、1メートル巻き上げて1度コマセを振り、また1メートル巻いてもう1度コマセを振り、さらに1メートル巻いて待ちます」と手本を披露。直後に竿先がコツコツとき

「これは僕が釣ったんだよ」と丸谷拓統くん(12歳)がうれしそうに写真に収まってくれた。

「ヒットしました、どうぞ」とタックルを彼女に渡して巻き上げてもらうと22センチのアジがダブルで上がってきた。「もう一度やってみますから」と再びタックルを借りると、今度は3尾掛けのパーフェクトでアジが上がる。

「このころになると、前半の不調がウソのようにアジやサバが釣れ上がり船内に活気がみなぎる。」



「私がオマツリほどきを手伝おうとしたら

「初心者ばかりでご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします」とのこと。

「これは俺らの仕事ですから任せてください」と手際よくほどいて回っていく。

また、これからのシーズンは夜メバルにも出船予定とのことであった。受付を済ませて船に乗り込むと左舷に7本、右舷に2本のレンタルタックルがセットされている。

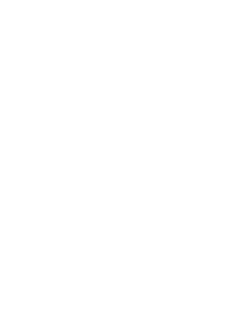
「水深は48メートル。底から3メートルでやってみてください」と開始が告げられた。しかし、グループさんたちはどうしてよいやらあたふたしている様子。2名の仲乗りさんが飛び回ってアシストしている。

7時15分になり、「少々早いですが出船しましょう」と飛松船長が告げ、15名を乗せてポイントの大津沖に向かう。

●船宿information
三浦半島京急大津港
まるまつ丸
☎046-843-8167
(詳細は巻末の情報欄参照)
▶料金=土日祝アジ・サバ乗合午前船一人6000円(コマセ、付けエサ、水付き)、アオイソメ200円
▶備考=予約乗合、7時半出船。貸しポート店併営

「今日は楽しかったなあー」と言うグループさんたちの会話を聞きつつ港を後にした。

「今日は楽しかったなあー」と言うグループさんたちの会話を聞きつつ港を後にした。



●太ったサバも回遊中

知得! Tips and Tricks アカラゲ対策
今年は例年以上にアカラゲが多い。仕掛けに絡んだアカラゲの触腕は取り除かないといけませんが、歯ブラシでは手間がかかり、タオルではハリが引っ掛かってたりして厄介だ。そこでオススメするのが台所用スポンジ。これならこするだけで手早くアカラゲの触腕を取り除ける。
▲釣行の際はスポンジをお忘れなく!